

Add Ino

単純加算

足して明るくします

式 = Back + Fore

リニア色空間上での加算も可能です。

--- 入力 ---

両方とも接続していれば合成処理します。

動作スイッチ OFF のとき Back を表示します。

片方のみ繋がっていればそれを表示します。

Fore

上に重ねる画像を接続します。

Back

下に置く画像を接続します。

--- 設定 ---

Opacity

上に重ねる画像の不透明度を指定します。

0 の時は Fore 画像は透明になります。

初期値は"1.0"で Fore 画像は不透明として合成します。

0 から 1.0 の間の値を指定します。

1 以上の 10.0 までの値も指定できます

Clipping Mask

ON にすると、

素材(Back)の存在しない(Alpha 値がゼロ)場所は、透明のままにします。

初期設定は ON です。

Linear Color Space

ON にすると、リニア色空間に変換してから加算を行います。

初期設定は OFF です。

Gamma

リニア色空間に変換する際のガンマ値を指定します。初期設定は 2.2 です。

Source is Premultiplied

ON にすると、色空間の変換前にカラーチャンネル値をアルファチャンネルで割り (Unpremultiply)、変換後に再びアルファチャンネルを掛けます。入力画像が Premultiply されているとき、半透明ピクセルの色を正しく計算することができます。初期設定は ON です。

(OpenToonz のエフェクトの入力は通常 Premultiply されています)

--- ライセンス ---

リニア色空間の計算モードは DWANGO Co., Ltd.によるプラグインエフェクト "ComposeAdd" を基にしています。ライセンス情報については OpenToonz Stuff/doc/LICENSE 内の "LICENSE_dwango.txt" を参照してください。